大阪府立大学総合リハビリテーション学部理学療法学科・大阪府立大学総合リハビリテーション学部理学療法学専攻・
大阪府立看護大学総合リハビリテーション学部理学療法学専攻・同大学医療技術短期大学部理学療法学科　同窓会「**竹羽会**」 会誌

竹内街道

takenouchi – kaido

Vol.12

〒583-8555　　大阪府立大学
総合リハビリテーション学部
理学療法学専攻内　竹羽会
発行責任者：太田　幸子
編　集　者：藤堂　恵美子

巻頭言

長かった今年の冬も終わり、暖かい季節となりました。竹羽会会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか？新年度を迎えご多忙の方も多いかと存じます。

近年の理学療法士を取り巻く環境は、経済危機に伴い医療・介護の場面でも非常に厳しくなっております。一方、本年度４月からの診療報酬改定によりリハビリテーションを充実して行うべきであると改定された部分もあり、大きく体制の変わる職場の方も多いと思います。

私自身は、日々の業務に追われながら過ごしてしまうことが多いのですが、竹羽会を通して先輩や後輩の方々に出会うことはとても刺激になります。竹羽会の活動で出会うことのできた先輩や後輩の方々と一緒に勉強させていただく機会を持つと、私も頑張らなければといつも思い直します。

今回の研修会では、卒業生であります林好子先生にご講義いただけることになりました。知識面の補充はもちろんのこと、縦のつながりも持てるとても良い機会ですので皆様是非ご参加下さい。

縦のつながりを作るためにも、竹羽会執行部はこれからも努力して参ります。どのような活動を望まれるかなど、ご意見のある方は是非教えていただきたいと思います。

今後とも竹羽会へのご協力をよろしくお願い致します。

竹羽会　副会長　河西　由喜（8 期生）
（協和会病院）

府大の賞味期限を迎えます

～でも、理学療法士を定年退職するのではありません～　林 義孝

竹羽会の皆さん、お元気ですか。
さる、2 月 11 日の最終講義には在校生諸君に加え、
全国から同窓会の皆さんが、折角の休日にもかかわらず、
驚く程多数ご参加して下さり、感激で胸が熱くなりました。

講義の後に催されました懇親会では、とりわけ想い出が深い平成 6 年に設置された、旧大阪府立看護大学医療技術短期大学部の 1 期生の皆さんから、在校生まで多くの方々と懐かしくも和やかな時間を過ごすことができ、また一つ素敵な想い出がふえました。

省みますと、1 期生の講義から今も懲りずに、授業の際に度々本論から外れて、余談と言われかねないことばかりを、真剣に喋ってきました。言い訳ですが、教科書に書いていることは、読めば解ると思うからです。そして、本に書かれていないことこそ、是非とも学生諸君に伝えておきたいと、極めて勝手な思い込みで、今日の林流講義を形づくってきました。

でも、嬉しいのは、この様な私の講義を、同窓生となった皆さんが、在学中に忍耐と寛大な心とで、誰も授業料を返せと言わないで、許してきてくれたことです。

私が理学療法士となった、1969 年頃の我が国の理学療法士数は数千人に過ぎませんでした。ですから、この時代に理学療法士として第一歩を踏み出した人々は、一般社会と医療界の理解不足による何重もの苦労を重ねて、今日を築いてきたと言えます。

この苦労の原因が、全て社会や医療界に責任があると言えば、これからの私たちに、進歩は生まれません。一時期の理学療法士確保難の時代に、理学療法士とその治療技術が過大評価され、私たち自身が方向性を見誤ったことを否定することができません。その結果、短絡的かつ即物的な理学療法技術の導入に走り、患者をはじめ、医師、医療専門職者の期待を裏切り、理学療法士界が粉飾決算を続けてきた歴史があったと言えます。

しかし、発展を目指す組織は、この様な試行錯誤を繰り返すことが珍しくありません。むしろ、このような運動を繰り返す中で、必ず本質を見いだそうとする、若く強力なエネルギーの誕生が期待できるわけです。

このエネルギーの中心的推進力となり得るのが、竹羽会の同窓生諸君であることを、心から期待しています。とかく、同窓会は閉鎖的になり、村社会を形成しがちですが、これでは存在理由がありません。同窓会組織は会員が常に切磋琢磨をする場の一つとして、母校教員と後輩の交流を積極的にしながら、明るい組織として歩んで下さい。

私は、3 月で大阪府立大学を定年退職しますが、理学療法士としての定年を迎えるわけではありません。ですから、4 月からは多忙な毎日を返上して、じっくりと理学療法士界全体のための社会活動に主軸を置いて頑張りますので、いつでも声をかけて下さい。

なに～教科書を忘れただと！
59 点でも 60 点にはしない！
勉強していない理学療法士に治療を担当されて困るのは、
患者さんダア！

・・・想い出の林語録の一部でした（笑）。

竹羽会より花束をお渡しさせて頂きました。

第12回竹羽会研修会報告

日　時：　平成21年11月8日（日）　10：00～15：30
場　所：　森之宮病院　2階　ウッディホール
講　師：　伊藤　健一　先生　（大阪府立大学　総合リハビリテーション学部）
参加者：　29名

研修会を終えて

今回は、母校の伊藤健一先生に「呼吸理学療法－臨床導入編－」というテーマで講義していただきました。呼吸理学療法の基本的なところから肺合併症を起こしやすい術後のリスク管理、画像の診かた、血液検査データの診かた等盛りだくさんの内容でした。その中でも血液ガスの内容に関しては、基本的な知識に加えて更に臨床的な内容を学ぶことができ、呼吸理学療法への理解が深まりました。また、今回は講義だけでなく実技もあり、治療者の身体の使い方なども教えていただきながらアットホームな雰囲気で呼吸介助や排痰介助を練習することができました。在学中とは違い、実際の治療場面を思い浮かべながらの実技はとても有意義なものとなりました。

私は現在、急性期の病院に勤務しています。対象疾患は脳卒中が主ですが、発症直後は呼吸器の問題を抱えている症例が多くあります。今回の研修会をきっかけに、何となく難しい領域という意識があった呼吸理学療法を身近に感じることができ、実際の臨床場面でも呼吸器の問題にしっかり目を向ける意識付けができてきたように思います。これからも今回学んだ事を患者様の評価、治療に活かしていきたいと思います。

最後になりましたが、講義していただいた伊藤先生、ならびに研修会を開催して下さった先生方に感謝いたします。

瀬川　古都恵（府大１期生）
（西宮協立脳神経外科病院）

第 13 回卒後研修会のお知らせ「循環器の基礎」

講師：林好子先生（大阪府立急性期総合医療センター　リハビリテーション科）

前回の伊藤先生に続き、今回は母校の卒業生の林好子先生に循環器の基礎について講義して頂けることになりました。1 年目～4、5 年目を主に対象とした基礎知識の再学習による臨床への還元を目的としております。臨床にでて、循環器疾患を有する患者さんを担当することも多くあるかと思います。講師の先生は卒業生でありますので質問などもしやすいことかと思います。是非、皆様のご参加をお待ちしております。申し込み方法等は、別紙研修会案内をご参照ください。　　学術部　杉山恭二

各部年間予算案について

竹羽会では、1年間で卒業生向けの研修会と外部の方々も含めた研修会及び執行部会(2～3回)、広報誌の発行、卒業生への電報の送付などの活動を行っています。研修会を通して、卒業生に知的財産を還元できることと先輩と後輩とのつながりを持ち続けていくことを目的としています。竹羽会の活動は、卒業生からの永久会費及び外部からの研修会参加費によって運営されており、現在、活動の枠組みが出来つつある中で、年間予算案を立てることで継続した活動を行っていきたいと考えています。

執行部会は卒業生の研修会参加費の軽減や交通の便が良く参加しやすいような研修会場や使用料について検討してきました。また、できる限りメーリングリストを用いて執行部員の交通費や軽食費の削減をはかっています。これまでの活動を参考にして、各部の部長が年間予算案をたてましたので、次回の総会までに卒業生の皆様にご確認して頂きたいと思います。

部	主な内訳	予算
学術部	講師代、お車代、タクシー代、弁当代、接待費、備品代、研修会の交通費、施設利用料、茶話会費	190,000円
事務局	執行部会の軽食代(2,500円×年2～3回)	10,000円
厚生部	夏の研修会の講師の懇親会費(6,000円) 府立大卒業式の際に贈る電報(2,000円)	8,000円
広報部	広報誌および封筒印刷・広報誌発送 （年30部増刷と想定し、加算）	110,000円
財務部	特になし	0円
書記	特になし	0円
その他	ホームページ管理料(10,000円) 執行部会の交通費(10,000円×年2～3回)	40,000円
年間予算（合計）		358,000円

＊年間予算は、活動内容によって増減する場合があります。

会費納入のお願い

竹羽会の運営は，会員の皆様から収めて頂く会費によって支えられています．未納入の方は是非ともお収め下さい．なお，会費は**永久会費**で20,000円となっております．

たいへん大きい金額ではございますが，勉強会開催などの費用に割り当てる大切なお金です．

よろしくお願いいたします．

〈郵便振替口座〉

振替口座：00910-7-223456

加入者名：竹羽会

・振込手数料はまことに恐縮ですが
　ご負担をお願いいたします．

・必ず振込み者の氏名と期数を入れて下さい．
　例：「ﾘｶﾞｸ ﾊﾅｺ ｶﾞｸﾌﾞ1」「ﾘｶﾞｸ ﾀﾛｳ ﾌﾀﾞｲ2」

・ATMからも振込みができます
　（専用の用紙をお渡しします）．

竹羽会「永久会費」に関するお問い合わせは下記までお願いします．

財務部：植木　晶子(府大1期生)
（みどりヶ丘病院リハビリテーション部）
連絡先TEL：072－681-5717（代表）
072－681-5975（リハ直通）
E-mail：rihabiri@midorigaoka.or.jp

ちくわ ちくわ ちくわ ちくわ ちくわ ちくわ

総会案内

平成 22 年度定期総会開催のご通知

竹羽会事務局長　　赤井　友美

拝啓　春暖の候、会員の皆様におかれましてはいよいよご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当会平成 22 年度定期総会を下記により開催いたします。今後の竹羽会を考える良い機会になると考えますのでご出席いただけますようご案内申し上げます。なお当日お差支えのある場合は同封の委任状をご利用ください。賛否の表示とご捺印のうえ期日までにご返送いただきますようお願いします。今回は予算案および規約改正について議題が挙がっております。事前に目を通していただくと共に、総会当日には規約案および細則案をご持参ください。

敬具

記

日　　時：平成 22 年 6 月 13 日（日）　13：00～（12：45～　受付開始）

場　　所：森之宮病院　2 階　ウッディホール

審議議題：第一号議案　平成 21 年度事業報告

第二号議案　平成 21 年度会計報告

第三号議案　平成 22 年度事業計画

第四号議案　平成 22 年度予算案

第五号議案　その他　　規約改正について

締め切り：平成 22 年 5 月 31 日（月）

問い合わせ先：赤井　友美（8 期生：奈良東病院　tomoa_a3335@yahoo.co.jp）　　以上

投稿大募集！

『竹内街道』では、会員の皆様からの投稿原稿を大募集しています。「こんな研修会に参加してきました」「こんな勉強会をやってます」「今度、同窓会があります」などなど、内容、文字数等問いません。会員に知らせたいことを何でも良いので広報部までお寄せください。次号は、平成22年秋頃発行予定です。投稿お待ちしてます！！　広報部　藤堂 恵美子（9期生　巽病院）E-mail：to_emk@yahoo.co.jp

編集後記

この度は林先生に原稿をお願い致しました。最終講義に参加できなかった方々にも会場の雰囲気が伝わればと思います。林先生、ご協力ありがとうございました。（藤堂＆高橋）

ひとり言

お問い合わせ・連絡先

所属の変更等がございましたら，こちらまでお知らせ下さい．

事務局：赤井　友美（8期生）
〒632－0001　奈良県天理市中之庄町 470　奈良東病院　リハビリテーション科
TEL：(0743) 65－1771　　FAX：(0743) 65－4157　　E-mail：tomoa_a3335@yahoo.co.jp